

洞爺湖サミットを契機に 広がる環境保全の輪

2008年7月7～9日、北海道洞爺湖サミット開催――。世界全体での長期目標（2050年までに世界全体の温室効果ガスの排出量の少なくとも50%を削減）にも触れた首脳宣言が採決され、今後の気候変動問題の解決に向けた弾みとなりました。

サミットをきっかけに、洞爺湖の青い水面の波紋のように、市民レベルへと広がっていく環境保全の取り組みを紹介します。

サミット 豆知識

G8サミットってなに？

日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、カナダ、ロシアの8カ国首脳とEUの委員長が参加して毎年開催される主要国首脳会議。G8とはGroup of Eightを意味するとされる。

G8環境大臣会合の役割は？

G8サミットに先立ち、各国の環境担当大臣が意見交換を行う閣僚会議。サミット議長国が主催。洞爺湖サミットにおいては5月に神戸で開催され、G8を含む19カ国の大臣、政府高官と、8国際機関の代表などが参加。「気候変動」「生物多様性」「3R」について議論が行われた。NGOや産業界などさまざまな関係者（ステークホルダー）との交流も重視している。

運営にも環境に優しい工夫！？

低公害車の利用やリサイクル製品の利用など、洞爺湖サミットやG8環境大臣会合の開催による環境への負荷を低減する配慮が。どうしても避けられない温室効果ガスの排出に対しては、その排出量を別の削減事業などによって埋め合わせる「カーボン・オフセット」が実施された。

サミットと環境問題の関係は？

1975年、オイルショックによる世界経済の混乱に対処するため、フランスの提唱で始まったサミット（主要国首脳会議）。1989年のアルシュサミット（首脳会議）のころからは、地球環境に関する諸問題も国際社会における重要課題としてサミットで取り上げられている。

環境の3大テーマ その1 気候変動

気候変動問題は国境を越えて人間の安全保障を脅かす課題であり、国際社会の一致団結した取り組みの強化が急がれる。2012年で終了する京都議定書第一約束期間後の次期枠組みに関する議論が大きな焦点となっている。

環境の3大テーマ その2 生物多様性

生物多様性がかつてないスピードで失われ、大量絶滅の危機とされている現在。多様ないのちをみんなでつないでいくことは国際的な課題。2010年、生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が名古屋で開催される。

環境の3大テーマ その3 3R

廃棄物の発生抑制（リデュース Reduce）、再使用（リユース Reuse）、再生利用（リサイクル Recycle）の頭文字をとって3R。資源の有効利用を通じて環境と経済の両立を図る循環型社会を形成していくために、2004年のG8サミット（シーアイランドサミット）において、小泉元総理が「3Rイニシアティブ」を提案。G8の新たなイニシアティブとして合意された。

洞爺湖サミットのロゴマーク

全国小・中・高等学校生のグループ（原則としてクラス単位、クラブ単位）を対象に公募され、三重県立特別支援学校北勢から学園のグループC8（代表：近藤敦也さん、18歳）が内閣総理大臣賞を受賞。中央の緑の円は、発芽している種、周囲の青色の円は地球を表し、地球がいつまでも緑が溢れる美しい星であって欲しいという願いが込められ、北海道洞爺湖サミットから生まれた芽が成長し、大きな実を結ぶようにというメッセージを伝えている。

